CITIZEN®

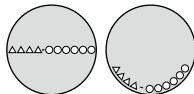
取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ（http://citizen.jp/）でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと 6 ケタ以上からなる番号が刻印されています。
この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。
図では「△△△△」が機種番号です。

＜刻印の位置の例＞

時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

＜保護シールについて＞

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

＜バンド調整について＞

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

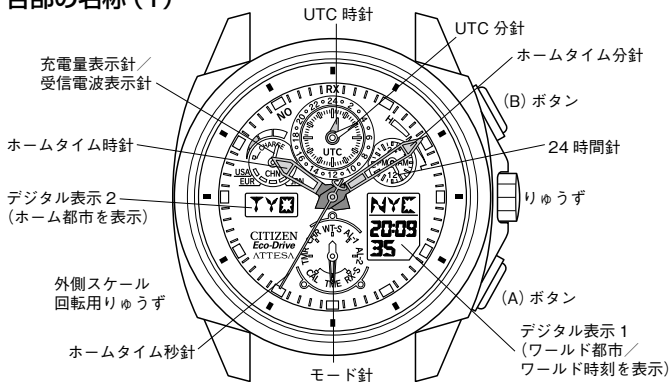
■ワールドタイムエコ・ドライブ電波時計■

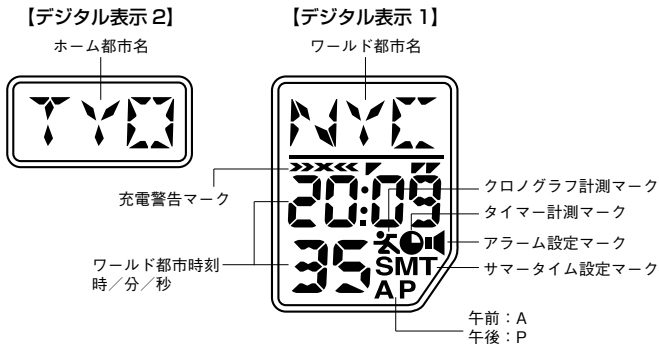
日本、アメリカ、ヨーロッパ（ドイツ）、中国の標準電波を受信して、時刻・カレンダーを修正する電波時計です。
電波時計は、人体や医療機器への影響は一切ありませんので、安心してお使いください。

■十分に光を当てて充電してからご使用ください■

ご使用中に時計の秒針が２秒毎に運針している場合は、充電不足をお知らせしています。『充電時間の目安』を参考に充電してからお使いください。

●月に一度は、長時間直射日光に当てて充電してください。

各部の名称（1）

●お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは、異なる場合があります。

各部の名称（2）：デジタル表示部

注：説明のためデジタル部を全表示させています。

各部の名称（3）：電波受信表示部

目　次

各モードの操作

光発電

■ 1．商品の特長

≪電波受信機能≫

日本、アメリカ、ヨーロッパ（ドイツ）、中国の 4 地域の電波送信所から送信されている標準電波（時刻情報）を受信し､時刻やカレンダーを自動修正する電波時計です。

P. 20

◎**定時受信機能**：毎日午前 2 時、3 時および 4 時の最多で 3 回、自動的に受信し時刻とカレンダーを合わせます。
なお、午前 4 時の定時受信の時刻は、任意に変更ができます。

◎**強制受信機能**：いつでも任意に電波を受信して、時刻とカレンダーを合わせることができます。

≪ワールドタイム機能≫

◎ UTC（協定世界時）と世界 43 都市（地域）および 1 都市（任意設定）の時刻や、カレンダーを表示し、簡単に呼び出すことができます。ビジネスや旅行で海外に行かれたときに便利です。また、サマータイムの設定もできます。**P. 38**

≪光発電機能≫

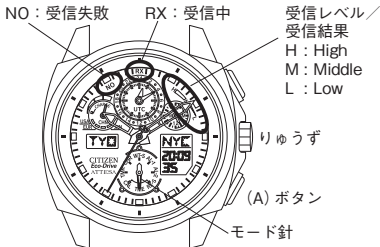
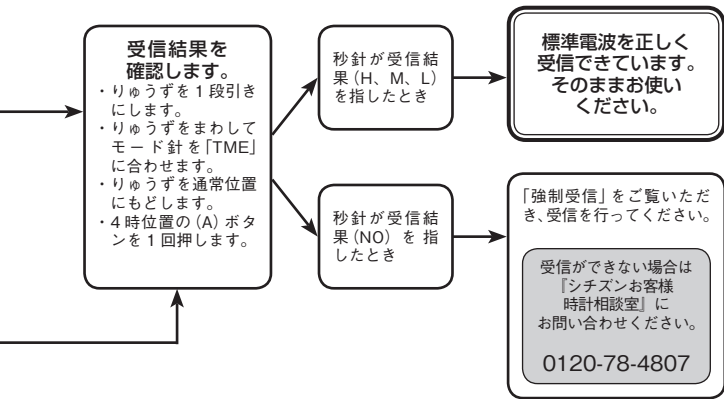
光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる、光発電機能を備えた多機能エコ・ドライブ電波時計です。

◎**充電量表示機能：**二次電池がどのくらい充電されているかの目安として、充電量を 4 段階のレベルでお知らせします。 **P. 80**

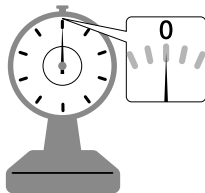
◎**パワーセーブ機能：**2 つのパワーセーブ機能を備えています。
文字板に光が 30 分以上当たらない状態が継続した場合は、液晶表示部分のみ全消灯し（パワーセーブ 1）、さらにその状態が 1 週間以上継続した場合は、時計の消費電力を抑えるために、時計機能の一部を止めます。（パワーセーブ 2）
P. 74

「JIS1 種耐磁時計※」、「衝撃検知機能」、「針自動補正機能」という 3 つの機能を一体化させることによって、衝撃や磁気などの外部要因による針位置ずれを防止しています。

※ JIS：〔日本工業規格〕
JIS1 種耐磁（直流磁界 4,800A/m に耐えられる）時計とは、日常生活で磁界を発生する機器に 5cm まで近づけても時計の機能を維持します。

■ 2. ご使用になる前にお確かめください

受信結果を
確認します。
・りゅうずを１段引きにします。
・りゅうずをまわしてモード針を「TME」に合わせます。
・りゅうずを通常位置にもどします。
・4時位置の（A）ボタンを１回押します。
秒針が受信結果（H、M、L）を指したとき
標準電波を正しく
受信できています。
そのままお使い
ください。
秒針が受信結果（NO）を指したとき
「強制受信」をご覧いただき、受信を行ってください。
受信ができない場合は
『シチズンお客様
時計相談室』に
お問い合わせください。
0120-78-4807

【基準位置の確認方法】

『ご使用の前に体重計と同じように
針が“0”になっているか確認しましょう』

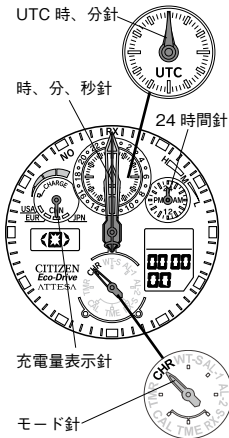
◎強い磁気や静電気、衝撃を受けたときに基準位置がずれる場合があります。
電波受信をしても、正しい基準位置に合わせていなければ正確な時刻を表示することができません。
針がきちんと“0”を指しているか確認しましょう。

影響のある磁気製品の例

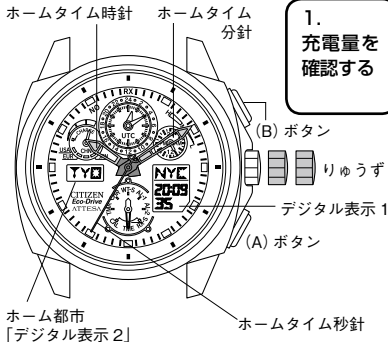
・健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)
・冷蔵庫(ドアのマグネット部)
・電磁調理器
・バッグ(磁石の留め具)
・携帯電話(スピーカー部)
などの製品に時計を近づけないでください。

1. りゅうずを1段引きでまわして、モード針を「CHR」(クロノグラフモード)に合わせます。
2. りゅうずを2段引きにします。
・各針が高速で運針し、時計の記憶している基準位置で止まります。

正しい基準位置

「充電量表示針」：CHN
「UTC時、分針」：0時0分
「時、分、秒針」：0時0分0秒
「24時間針」　：0時

3. 正しい基準位置の場合はこれで完了です。りゅうずを通常位置にもどしてください。
・ちがう表示の場合は、「基準位置の修正方法」(P.66)を参照して修正してください。

■3. この時計の基本操作

＊この時計はホーム都市に対応する電波送信所の電波を受信します。

1.
充電量を確認する

2.
ホーム都市を設定する

「デジタル表示 2」に、自分が現在いる都市が表示されていれば 次へ

①りゅうず 1 段引きで回転させ、「TME」に合わせる。
②りゅうずを 1 段引きのまま (A) ボタンまたは (B) ボタンを押して、「デジタル表示 1」にホーム都市を呼び出す。
③(A) ボタンと (B) ボタンを同時に押して、「デジタル表示 2」にホーム都市を表示させる。

3.
ホームタイムを合わせる

ホームタイムの時刻が正しい場合は

次へ

①手動での時刻合わせ
②電波受信での時刻合わせ

**注意：ホーム都市を受信範囲外の都市に設定した場合は受信できません。
手動で時刻合わせをしてください。**

4.
「デジタル表示 1」を設定する

デジタル表示 1 には、ワールドタイムやカレンダーを表示することができます。
また、モードを切り替えることにより、アラーム・タイマー・クロノグラフが使用できます。

■4. 電波受信について

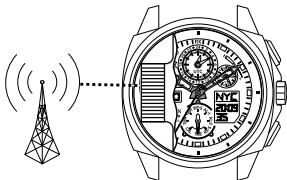
電波の受信方法は**定時受信、強制受信、復活自動受信の 3 つの方法があります。受信可能なモードは時刻 (TME)、カレンダー (CAL)、レシーブセット (RX-S) の 3 モード**です。それ以外のモードでは受信できませんのでご注意ください。
また、“デジタル表示 2” にホーム都市を表示して受信させます。

・りゅうずは通常位置以外では受信しません。
・ホーム都市が「UTC」の場合は受信しません。
・クロノグラフおよびタイマーの計測中は受信しません。
・環境によって受信レベルが変わります。受信レベル「H、M、L」を参考に、何度か時計の向きや場所を変えて受信を行ってください。
・受信中は原則として各針を停止させた状態で、電波を受信しています。
受信中に時刻を確認したいときは、(A) ボタンを 2 秒以上押して、受信をキャンセルしてください。各針はもとの時刻表示にもどります。
・受信をしている間にも秒針が回転して分針を現在時刻に合わせます。このことによって正しい時刻への修正時間を短縮しています。

定時受信 （自動受信）

●定時受信はボタンの操作など必要ありません。
●毎日午前 2 時、3 時、4 時に自動的に受信を行います。
●午前 4 時のみ任意の時刻に変更できます。（P.61）
●受信「OFF」の設定ができます。（P.61）

《受信の方法》

1. 時計を腕から外し、9 時側（受信用アンテナ位置）を電波送信所の方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いてください。
2. 毎日午前2時に自動的に受信を行います。

時計内部に電波受信用のアンテナ（9 時側）が組み込まれています。

強制受信 （手動受信）

●いつでも受信ができます。

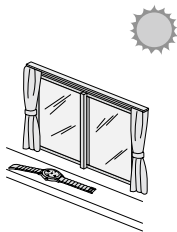
【受信のモード位置】

《受信の方法》

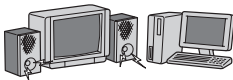
1. りゅうずを 1 段引きでまわして「CAL」、「TME」または「RX-S」の位置にします。
2. りゅうずを通常位置にもどします。
3. 時計を腕から外し、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置きます。
4. 時計の 9 時側を電波送信所の方向に向け、(A) ボタンを 2 秒以上押し続け、確認音が鳴り秒針が「RX」に停止したら離してください。その後、秒針が「H、M、L」に移動し、受信を始めます。
   ※受信中は時計を動かさないでください。
5. 受信が完了すると秒針が「H、M または L」から受信した時刻へ自動的に移動し、各針が修正され 1 秒運針にもどります。
   ※受信には最大 15 分かかります。

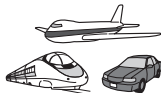
復活自動受信 （自動受信）

●充電不足で時計が止まったあと、時計に光を当てて十分に充電されると一度だけ自動的に受信を行います。

※充電不足にならないように、常に充電を心がけてご使用ください。
『受信結果の確認方法』（P.26）で確認ができます。

■ 5. 受信が困難な場所について

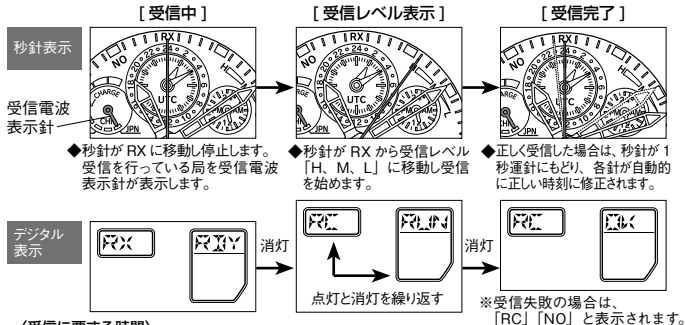
下図のような電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では、電波を受信できないことがあります。
受信レベル表示を参考に受信しやすい場所を探してください。

◆鉄筋コンクリートなどの建物の中および地下

◆テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く

◆高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く

◆車、電車、飛行機の中

◆通話中の携帯電話の近く

◆極端に高温や低温の場所

■6. 受信中の表示

〈受信に要する時間〉

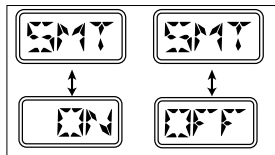
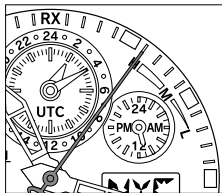
当日の天候やノイズ状況により、受信にかかる時間が約 2 分〜最大 15 分かかることがあります。受信に失敗した場合は、すぐに通常表示にもどる場合があります。

【注意】 受信中に秒針が 1 回転し、再度受信レベルを指すことがあります。
1 秒運針するまでは時計を動かさないでください。

■ 7. 受信結果の確認方法

・受信の結果を確認することができます。
・ホーム都市のサマータイム設定状態を確認することができます。

1. りゅうずを 1 段引きにしてモードを TME、CAL、RX － S のいずれかにセットします。
2. りゅうずを通常状態にもどして (A) ボタンを 1 回押すと、秒針が「H、M、L または NO」のいずれかに移動し、受信結果を表します。
   ・デジタル表示 2 にホームタイムのサマータイム設定状態を表示(「SMT」と「ON」または「OFF」が交互に点滅) します。
   ・受信電波表示針が JPN、EUR、USA、CHN のいずれかを指します。
3. (A) ボタンを 1 回押します。
   ・通常時刻 (1 秒運針) にもどります。
   ・または、10 秒間操作なしで、自動的に通常運針にもどります。

【デジタル表示2】

受信レベル	受信中レベルおよび受信結果
H M L	受信環境が非常に良い状態で受信中または受信したとき 受信環境が良い状態で電波を受信中または受信したとき 受信環境が良くない状態で電波を受信中または受信したとき
NO	受信に失敗したとき

＊電波を正しく受信しても、電波の受信環境や時計内部処理により、時刻表示に若干のずれが生じる場合があります。

＊「H、M、L」は、受信環境を示すもので、時計の性能とは関係ありません。

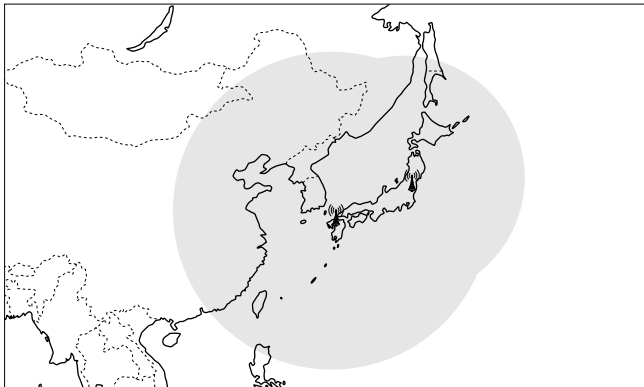
・「NO」を指した場合は、受信しやすい場所および方向を探して再度「強制受信」を行ってください。

■ 8. 受信可能地域の目安

この時計は日本（2 局）とアメリカ、ヨーロッパ（ドイツ)、中国の標準電波を受信することができます。
受信の割り当て地域を選択することによって、受信する標準電波が切り替えられます。
受信可能地域の目安は図の通りです。ただし、日の出、日の入りの時間帯や季節の変化、天候（落雷など）により、電波状況は変化します。
受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

	標準電波	送　信　所	周波数
JPN	JJY 日　本	おおたかどや山標準電波送信所（福島局）	40k HZ
		はがね山標準電波送信所（九州局）	60k HZ
USA	WWVB アメリカ	コロラド州デンバー　フォートコリンズ送信所	60k HZ
EUR	DCF77 ドイツ	フランクフルト南東　マインフリンゲン送信所	77.5k HZ
CHN	BPC 中国	河南省商丘市送信所	68.5k HZ

電波時計で利用している標準電波は、送信所の事情により送信が中断されることがあります。
標準電波が受信できない場合でも、時計は月差± 15 秒以内の精度で動き続けます。

JPN：JJY（日本）２局自動選択　福島局：送信所を中心に半径約 1,500km
九州局：送信所を中心に半径約 2,000km

USA：WWVB（アメリカ）フォートコリンズ：送信所を中心に半径約 3,000km

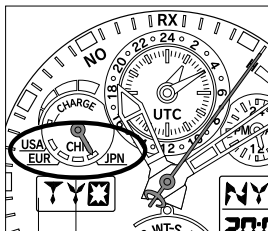
EUR：DCF77（ドイツ）マインフリンゲン：
送信所を中心に半径約 1,500km

CHN：BPC（中国）河南省商丘市：
送信所を中心に半径約 1,500km

■ 9. ワールド都市の表示

この時計にはあらかじめ UTC と 43 都市および 1 都市（任意設定）が登録され、各都市の時刻を呼び出して表示することができます。

● TME モード、または CAL モードのりゅうず 1 段引きで（B）ボタンを押すと、「UTC との時差表」の左上から右下の順に都市名が表示され、（A）ボタンを押すと右下から左上の順に都市名を表示します。

〔UTC とは〕 協定世界時（Coordinated Universal Time）
世界の基準時計として採用されている原子時計の時刻（＝国際原子時）と、地球の自転に基づく時刻（世界時）のずれを補正するために、うるう秒で調整された時刻です。

〔各都市と標準電波の割り当て〕

「UTC との時差表」にある受信標準電波は、「デジタル表示 2」のホーム都市によって下記 4 つの電波送信所のいずれかが割り当てられています。

〔標準電波の割り当てについて〕

JPN ：JJY（日本）
USA：WWVB（アメリカ）
EUR：DCF77（ドイツ）
CHN：BPC（中国）

・受信範囲外の国、地域でも電波送信所が割り当てられています。
・受信局の割り当ては、受信を保証するものではありません。
・日本の標準電波（JJY）の場合、福島局・九州局のうち、受信しやすい局を自動選択して受信します。

【UTC との時差表】

「TME」モードにして、りゅうず 1 段引きで (B) ボタンを押す毎に、表の都市名が「デジタル表示 1」に上から下に、(A) ボタンを押すと下から上に表示します。

略称	都市名	時差	電波局	略称	都市名	時差	電波局
UTC	協定世界時	0	---	DXB	ドバイ	+ 4	EUR ◆
LON	ロンドン	0	EUR	KBL	カブール	+ 4.5	
MAD	マドリード	+ 1		KHI	カラチ	+ 5	CHN ◆
PAR	パリ	+ 1		DEL	デリー	+ 5.5	
ROM	ローマ	+ 1		DAC	ダッカ	+ 6	
BER	ベルリン	+ 1		RGN	ヤンゴン	+ 6.5	
CAI	カイロ	+ 2	EUR ◆	BKK	バンコク	+ 7	
ATH	アテネ	+ 2		SIN	シンガポール	+ 8	
JNB	ヨハネスブルグ	+ 2		HKG	香港	+ 8	CHN
MOW	モスクワ	+ 3		BJS	北京	+ 8	
RUH	リヤド	+ 3		TPE	台北	+ 8	JPN
THR	テヘラン	+ 3.5		SEL	ソウル	+ 9	

・43 都市以外の都市に行かれる場合は、その都市と同じ時差を表示させてください。
・「EUR」→ヨーロッパ電波、「CHN」→中国電波、「JPN」→日本電波、「USA」→アメリカ電波

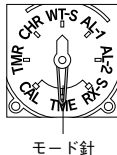
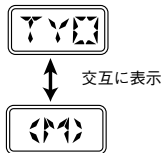
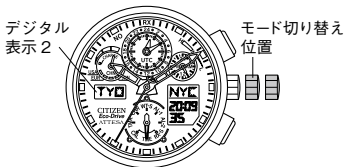
・割り当てた局以外は受信しません。（例:デジタル表示２が「TYO」表示のとき､日本電波以外は受信しません｡）
・電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。
・◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。
（受信時には各局の電波を受信しようと動作します。）

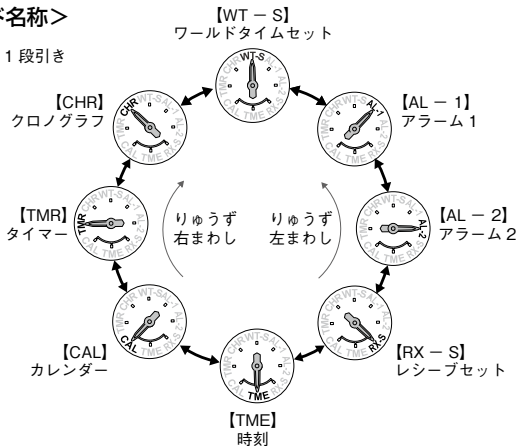
略称	都市名	時差	電波局	略称	都市名	時差	電波局
TYO	東京	+ 9	JPN	MEX	メキシコシティ	- 6	USA
ADL	アデレード	+ 9.5	JPN ◆	CHI	シカゴ	- 6	
SYD	シドニー	+ 10		NYC	ニューヨーク	- 5	
NOU	ヌーメア	+ 11		YMQ	モントリオール	- 5	
AKL	オークランド	+ 12		SCL	サンティアゴ	- 4	USA ◆
SUV	スバ	+ 12		RIO	リオデジャネイロ	- 3	
MDY	ミッドウェー	- 11	USA ◆	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	- 2	EUR ◆
HNL	ホノルル	- 10					
ANC	アンカレジ	- 9		PDL	ポンタ・デルガダ	- 1	
YVR	バンクーバ	- 8	USA	HOM	ホーム（任意時差）	任意	時差による
LAX	ロサンゼルス	- 8					
DEN	デンバー	- 7					

※国の事情により、サマータイム期間や時差および都市名が変わる場合があります。

■ 10. モードの切り替え方法

この時計は、「TME」時刻、「CAL」カレンダー、「TMR」タイマー、「CHR」クロノグラフ、「WT-S」ワールドタイムセット、「AL-1」アラーム 1、「AL-2」アラーム 2、「RX-S」レシーブセットの 8 つのモードがあります。

1. りゅうずを 1 段引き(モード切り替え位置)にします。
   ・デジタル表示 2 に「ホーム都市」と「(M)」が交互に表示されモード切り替え状態になったことをお知らせします。
2. りゅうずをまわしてモード針を各モードに合わせます。りゅうずは右または左まわりのどちらでも合わせることができます。
3. りゅうずを通常位置にもどします。

＜モード名称＞

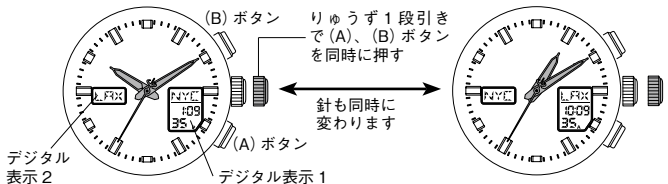
＊りゅうず 1 段引き

■ 11．ホームタイムとワールドタイムの使い方

・ビジネスや旅行で時差のある国、地域に行かれるとき、ホームタイムとワールドタイムを入れ替えることにより、簡単に行き先のホームタイムを表示させることができます。
※入れ替えは「TME」時刻、「CAL」カレンダーモード以外はできません。

《ホームタイムとワールドタイムの入れ替え方法》

例：ロサンゼルスからニューヨークに行く場合
ホームタイムにロサンゼルスの時刻（針表示）「午前 10 時 9 分」、ワールドタイムにニューヨークの時刻（デジタル表示）「P1:09」を表示しているとき（デジタル表示 1 が「NYC」、デジタル表示 2 が「LAX」）

1. りゅうずを 1 段引き（モード切り替え位置）にします。
   ・りゅうずをまわして時刻（TME）モードまたはカレンダー（CAL）モードにします。
   ・デジタル表示 2 にホーム都市「LAX」と「(M)」が交互に表示され、モード切り替え状態になります。
2. (A) ボタンと (B) ボタンを同時に押します。
   ・確認音が鳴り、ロサンゼルスとニューヨークの都市名、時刻が入れ替わります。
3. りゅうずをまわして元のモードにもどします。
4. りゅうずを通常位置にもどして終了です。
   （「P1:09」は午後 1 時 9 分を指します）

例：時刻（TME）モードのとき

＜デジタル表示 2 ＞
ホーム都市：LAX（ロサンゼルス）
ホームタイム（針表示）：AM10 時 9 分

＜デジタル表示 1 ＞
ワールド都市：NYC（ニューヨーク）
ワールドタイム（デジタル表示）：P1:09

＜デジタル表示 2 ＞
ホーム都市：NYC（ニューヨーク）
ホームタイム（針表示）：PM1 時 9 分

＜デジタル表示 1 ＞
ワールド都市：LAX（ロサンゼルス）
ワールドタイム（デジタル表示）：A10:09

■ 12. サマータイムの使い方

〔サマータイムとは〕
日照時間が長くなる夏の期間だけ時刻を 1 時間進めて、夏時間とする制度です。
なお、時期および実施の有無は、国、地域により異なります。

○電波受信によってサマータイムを自動的に切り替えたいとき

・RX − S モードのサマータイム受信設定を「AU」に設定するだけで電波を受信後、自動的にサマータイム情報を時刻に反映させます。

※ホーム都市は必ず受信可能範囲の都市にします。

※都市や地域により、サマータイム時刻への変更時刻が異なりますので、切り替え当日は自動的に切り替わらない場合があります。

【サマータイムの設定方法】

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">電波受信による自動切り替え</th><th colspan="2">手動切り替え</th></tr>
<tr><th>RX-S</th><th>TME/WT-S</th><th>RX-S</th><th>TME/WT-S</th></tr>
<tr><td>サマータイムを
ON にする</td><td>AU</td><td rowspan="2">ON、OFF どちらでも良い</td><td>mA</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>サマータイムを
OFF にする</td><td>AU</td><td>mA</td><td>OF</td></tr>
</table>

※操作の詳細は各モードの操作説明をご覧ください。

■ 13.「TME」時刻の合わせ方

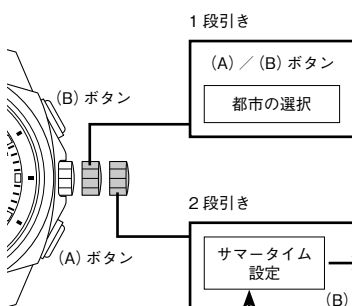
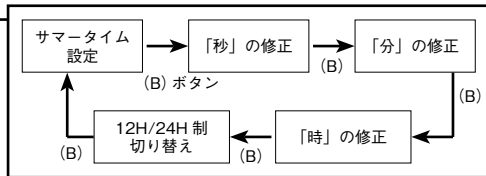
（時刻はデジタル表示により修正します）

・電波を受信できない国や地域では、手動で時刻を合わせることができます。
・時刻合わせは「デジタル表示 1」に時刻合わせをしたい都市を呼び出して修正します。ホームタイム（時／分／秒針）を直接修正することはできません。
・サマータイムの設定ができます。

《時刻の修正》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させ、モード針を「TME」時刻モードに合わせます。
2. (A) または、(B) ボタンを押して修正する都市名を呼び出します。
   ・ホーム都市の時刻（時、分、秒針）を合わせる場合は、ホーム都市とワールド都市を入れ替えて修正します。**（ホームタイムとワールドタイムの入れ替え方法）**

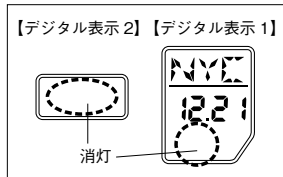
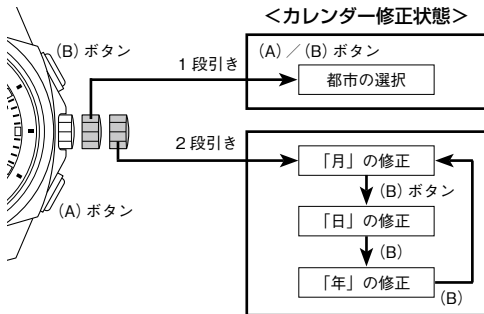
3. りゅうずを2段引きにして時刻修正状態にします。
・秒針が12時位置に移動し停止します。
・デジタル表示2のホーム都市表示が消灯します。
・サマータイム設定の修正状態になり「ON」または「OF」が点滅します。
（UTCはサマータイムの「ON」または「OF」はありません。）
・(A) ボタンを押すごとにサマータイムの設定（ON)、または解除（OF）ができます。
・サマータイムの設定をすると1時間進みます。
・(B) ボタンを押すごとにデジタル部が点滅して修正箇所が切り替わります。
4. (B) ボタンを押して「秒」の修正状態にします。
・(A) ボタンを押すと0秒にもどります。
5. (B) ボタンを押して「分」の修正状態にします。
・りゅうずをまわして修正します。右にまわすと進み、左にまわすともどります。
・りゅうずを連続回転させると早送りができます。止める場合は、りゅうずを左右どちらかにまわします。

6. (B) ボタンを押して「時」の修正状態にします。
   ・りゅうずをまわして修正します。右にまわすと進み、左にまわすともどります。
   ・りゅうずを連続回転させると早修正できます。
7. (B) ボタンを押して「12H/24H」の修正状態にします。
   ・(A) ボタンを押すごとに 12 時間制と 24 時間制を切り替え選択できます。
   ・この設定が他のモードでも適用されます。
8. りゅうずを通常位置にもどして終了です。
   ・ホームタイムを修正した場合は、デジタルに連動してアナログも修正されます。

●いずれか一つの都市の時刻を合わせると、他の都市も自動的に時刻が修正されます。
●サマータイムは、各都市ごとに設定できます。

■ 14.「CAL」カレンダーの合わせ方

（カレンダーはデジタル表示により修正します）

・電波を受信できない国や地域では、手動でカレンダーを合わせることができます。
・ホーム都市のカレンダー修正は「時刻の合わせ方」と同様に「デジタル表示 1」にカレンダー合わせをしたい都市を呼び出して修正します。

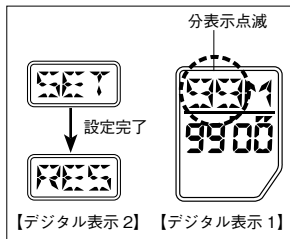
《カレンダーの修正》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させ、モード針を「CAL」カレンダーモードに合わせます。
2. (A) または、(B) ボタンを押して修正する都市名を呼び出します。
3. りゅうずを 2 段引きにしてカレンダー修正状態にします。
   ・「月」が点滅し、ホーム都市表示と曜日表示が消灯します。

4. (B) ボタンを押すごとにデジタル部が点滅して修正箇所が切り替わります。
   ・「月」→「日」→「年」の順で修正箇所が切り替わります。
5. 修正箇所を選択し、りゅうずをまわして修正します。右にまわすと進み、左にまわすともどります。
   ・りゅうずを連続回転させると早送りできます。止める場合はりゅうずを左右どちらかにまわします。
   ・曜日は年月日を合わせると自動的に修正されます。
6. りゅうずを通常位置にもどします。

- ● いずれか一つの都市のカレンダーを合わせると、他の都市のカレンダーも自動的に修正されます。
- ●「年」は、西暦 2000 年～ 2099 年までセットできます。
- ●「曜日」は、「年、月、日」を合わせると自動的に修正されます。
- ● 非存日（例えば、2 月 30 日）に合わせた場合は、通常表示にもどすと自動的に翌日の 1 日を表示します。

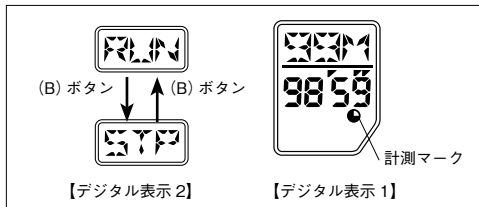
■ 15.「TMR」タイマーの使い方

・タイマーは、最大 99 分〜 1 分まで 1 分単位で設定できます。計測終了後、約 5 秒間タイムアップ音が鳴り、タイマー初期設定状態にもどります。(オートリターン機能)
・計測中に (A) ボタンを押すと初期設定時間にもどり、再計測します。(フライバック機能)
・タイマー計測中は電波受信ができません。

《タイマーの設定》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させ、モード針を「TMR」タイマーモードに合わせます。
2. りゅうずを 2 段引きにしてタイマー設定状態にします。
   ・デジタル表示 2 に「SET」が表示され、デジタル表示 1 の分表示が点滅します。

3. りゅうずを回転させるとセット時間の設定ができます。
・右にまわすとプラスに、左にまわすとマイナスに設定します。
・りゅうずを連続回転させると、早送りできます。止める場合はりゅうずを左右どちらかにまわします。
4. 設定完了後は、りゅうずを通常位置にもどします。
・デジタル表示 2 が「RES」(リセット)に変わります。

《タイマーの使い方》

1. (B) ボタンを押すごとに確認音が鳴り、スタート／ストップを繰り返します。
   ・デジタル表示 2 に計測中は「RUN」(ラン) 表示、ストップ時には「STP」(ストップ) が表示します。計測中は計測マークが点灯します。
2. 計測中に (A) ボタンを押すと、初期設定時間にもどり、再び計測を開始します。(フライバック機能)
3. タイマー停止中に (A) ボタンを押すと初期設定時間にもどります。
   ・デジタル表示 2 が「RES」に変わります。

4. タイムアップ時は、デジタル表示２に「END」が表示され、タイムアップ音が５秒間鳴ります。
   ・タイムアップ音を止めるには、(A) または、(B) ボタンを押します。
   ・デジタル表示２に「RES」が表示され初期設定時間にもどります。

※計測中は他のモードに切り替えても計測は続いています。

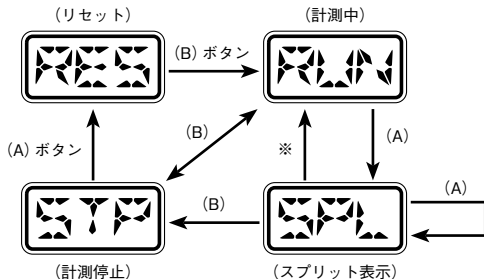
※りゅうずが通常位置以外のときはタイムアップ音は鳴りません。

■ 16.「CHR」クロノグラフの使い方

・クロノグラフは 1/100 秒単位で最大“23 時間 59 分 59 秒 99”まで計測表示ができます。
・24 時間経過後は計測が停止して、自動的にリセット状態にもどります。
・クロノグラフ計測中は受信ができません。

《クロノグラフの使い方》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させ、モード針を「CHR」クロノグラフモードに合わせます。
2. りゅうずを通常位置にもどします。
3. (B)ボタンを押すごとに確認音が鳴り、計測スタート／ストップをくり返します。
4. 計測中に（A）ボタンを押すと、スプリットタイムを 10 秒間表示します。10 秒後は計測状態にもどります。（オートリターン機能）
   ・計測中とスプリット表示中は計測マークが表示します。
   ・スプリットタイム表示中は、“SPL”表示が点滅します。
5. ストップしているときに (A) ボタンを押すと、クロノグラフリセット状態にもどります。

・クロノグラフ操作中はデジタル表示２の表示が下記のように変わります。

※ 10 秒間（A）または、（B）ボタンの操作がない場合、計測状態にもどります。
・計測中は他のモードに切り替えても計測は続いています。

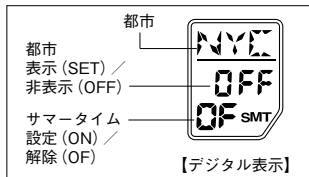
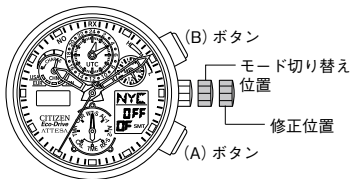
■ 17.「WT − S」ワールドタイムセットの使い方

・各都市のサマータイムの設定ができます。(UTC は除く)
・各都市 (UTC 以外の 44 都市) の表示または、非表示の設定ができます。
　※セット後は、各モードで簡単に呼び出し、表示されます。(ゾーンセット機能)
　※非表示に設定した場合、他のモードでもこの都市は表示されません。
・ユーザー設定都市〔HOM〕に任意の時差を 15 分単位で設定ができます。

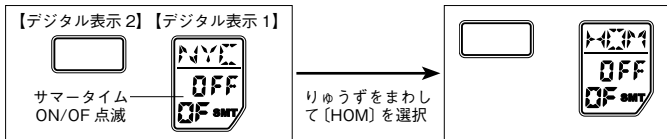
【注意】
各都市のサマータイムを「WT − S」モードで設定(ON または OF)しても「RX − S」モードで「AU」が設定されていた場合、「RX − S」モードのサマータイム設定が優先され ON が OF に、OF が ON に自動で切り替わってしまいます。
(電波塔所在地以外の国・地域の方は、サマータイムの開始日と終了日にご注意ください。)

≪「サマータイム」と「都市の表示/非表示」の設定≫

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させて、モード針を「WT − S」ワールドタイムセットモードに合わせます。
2. りゅうずを 2 段引きにしてワールドタイム修正状態にします。
　・デジタル表示 2 が消灯して、デジタル表示 1 は表示されている都市のサマータイム設定状態になり、「ON」または、「OF」が点滅します。
　・初期設定はすべて OF(解除)になっています。

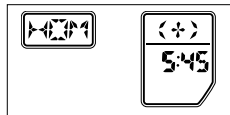
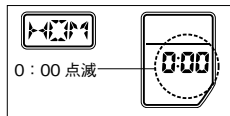
3. (A) ボタンを押すごとに、サマータイムの ON (設定)、または OF (解除) ができます。
・サマータイムを設定すると時刻が 1 時間進みます。
・りゅうずをまわすと他の都市のサマータイム設定ができます。りゅうずを右にまわすと時差のプラス方向、左にまわすと時差のマイナス方向で都市が変わります。
4. (B) ボタンを押して、都市の表示／非表示設定状態に切り替えます。
・「SET」(表示) または「OFF」(非表示) が点滅します。
・初期設定はすべて SET (表示) になっています。
5. (A) ボタンを押して「SET」または「OFF」を選択します。
・(A) ボタンを押すごとに「SET」と「OFF」が繰り返し表示して、選択できます。
・りゅうずをまわすと他の都市の設定ができます。
6. りゅうずを通常位置にもどします。

≪任意時差の設定≫

・設定都市「HOM」は UTC 時刻を基準にして、任意の時差を 15 分単位で設定することができます。（UTC 基準：－ 12 時間～＋ 14 時間）
・「HOM」で受信する電波は、UTC からの時差が近い都市に割り当てられている電波送信所からの電波になります。

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させて、モード針を「WT － S」ワールドタイムセットモードに合わせます。
2. りゅうずを 2 段引きにしてワールドタイム修正状態にします。
3. りゅうずを回転させて、ワールド都市に〔HOM〕を呼び出します。
   ・「ON」または「OF」が点滅してサマータイムの設定状態になります。

4. (B) ボタンを 2 回押して、時差設定状態にします。
・(B) ボタンを押すごとに「サマータイム ON/OF」、「都市の表示 SET/OFF」、「時差設定」の修正箇所が点滅して切り替わります。

5. りゅうずをまわして時差を設定します。
・右にまわすとワールド都市部に (+) が表示され、時刻表示部に UTC からの時差が 15 分単位で表示されます。
・左にまわすとワールド都市部に (−) が表示され、時刻表示部に UTC からの時差が 15 分単位で表示されます。
・りゅうずを連続回転させると、時差を早送りします。早送りを止めるには、りゅうずを左右どちらかにまわします。

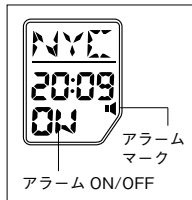
6. りゅうずを通常位置にもどします。
※時差が設定されていない場合、表示 SET ／ OFF の設定にかかわらず「HOM」の都市表示はされません。

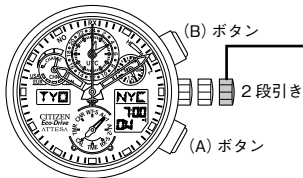
【時差設定状態】

UTC からの時差が (+) 5 時間 45 分の設定の場合

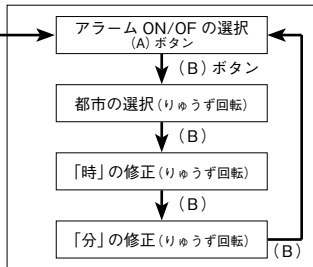
■ 18.「AL − 1・2」ワールドタイムアラームの使い方

・設定した都市の時刻にアラームをセットすることができます。
・1 日 1 回、セット時刻になるとアラーム音が 15 秒間鳴ります。途中で止める場合は (A) または (B) ボタンを押します。
・「アラーム 1」と「アラーム 2」はアラーム音が異なりますが、操作方法は同じです。

《アラーム時刻の設定》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させて、モード針を「AL − 1」または、「AL − 2」アラームモードに合わせます。
2. りゅうずを 2 段引きにしてアラーム修正状態にします。
   ・設定されている都市が呼び出され、「ON」または「OF」が点滅します。
3. (A) ボタンを押してアラーム ON(設定) または OF(解除) を設定します。
   ・(A) ボタンを押すごとに ON と OF が切り替わります。
   ・ON のときはアラームマークが点灯します。
4. (B) ボタンを押すごとに点滅表示して修正箇所が切り替わります。

・「アラーム ON/OF」→「都市名」→「アラーム：時」→「アラーム：分」の順で繰り返し修正箇所が切り替わります。
・都市名：りゅうずをまわして都市を選択します。
・アラーム時／分：りゅうずを右にまわすと時刻が進み、左にまわすと時刻がもどります。りゅうずを連続回転させると、早送りできます。止める場合はりゅうずを左右どちらかにまわします。

5. りゅうずを通常位置にもどします。

《アラーム音モニター》

「AL － 1」または「AL － 2」モードで、りゅうずを 1 段引きにして (A) ボタンを押している間、アラーム音が確認できます。

■ 19.「RX − S」レシーブセットの使い方

【サマータイム受信設定】

・受信した電波のサマータイムデータを時刻に反映させるかを選択します。サマータイムについては「サマータイムの使い方」(P.40) をご覧ください。

AU (オート): 受信した電波のサマータイムデータを時刻に反映させます。

※都市や地域により、サマータイム時刻への変更時刻が異なりますので、切り替え当日は自動的に切り替わらない場合があります。

※「AU」を選択した場合、ホーム都市のサマータイム設定はサマータイムデータ有りを受信すると「ON」に、サマータイムデータなしを受信すると「OF」に書き替えられます。

※各地域の電波を受信すると、該当する都市のサマータイムの「ON」「OF」が自動的に書き換えられます。各都市に対応する電波は「UTC との時差表」内の「受信標準電波」をご覧ください。

mA（マニュアル）: 受信した電波のサマータイムデータを時刻に反映させません。

【定時受信設定】

・定時受信の動作条件を設定します。

MAN（マニュアル）: 午前 4 時の定時受信時刻をホームタイムの任意時刻に変更できます。

※ 1 時間単位で変更できます。午前 2 時、3 時には設定できません。

OFF（オフ）: 定時受信を行いません。

AUT（オート）: 初期設定通りの時刻（午前 2 時、3 時、4 時）に定時受信を行います。

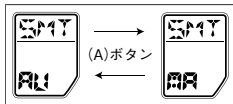
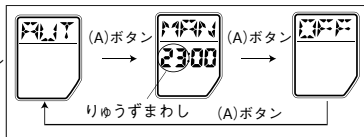
《設定手順》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させて、モード針を「RX − S」レシーブセットモードに合わせます。
2. りゅうずを 2 段引きにしてサマータイム (SMT) 受信設定状態にします。
   ・「AU」 または「mA」 が点滅して修正状態になります。
   ・(B) ボタンを押すごとに「サマータイム受信設定」 と「定時受信設定」 が切り替わります。
3. (A) ボタンを押して、「AU」または「mA」を選択します。

【サマータイム受信設定】

SMT AU
(A)ボタン
SMT mA
(B)ボタン

【定時受信設定】

AUT
(A)ボタン
MAN 2300
(A)ボタン
OFF
りゅうずまわし
(A)ボタン

4. (B) ボタンを押して定時受信設定状態にします。
   ・設定されている定時受信状態が点滅します。
   ・「AUT」、「MAN」および「OFF」が点滅して修正状態になります。
5. (A) ボタンを押して定時受信の動作条件を「MAN」にします。
   ・受信時刻の「時」が点滅します。
   ・(A) ボタンを押すごとに「AUT」→「MAN」→「OFF」の順で繰り返し修正箇所が切り替わります。
6. 受信時刻を変更する場合は、りゅうずをまわして 1 時間ごとに変更します。
   ・りゅうずを右にまわすと時刻が進み、左にまわすと時刻がもどります。
   ・午前 4 時の定時受信時刻が変更できます。(午前 2 時、3 時は表示されません)
   ・変更できるのは「時」のみで、12 時間制の場合「A」は午前、「P」は午後です。
7. りゅうずを通常位置にもどします。

※電波ノイズの比較的少ない夜間の設定が受信しやすい環境です。

■ 20. LED照明について

・りゅうずが通常位置のときに(B)ボタンを押すと、デジタル表示1、2にLED照明が2秒間点灯します。ただし下記のときは点灯しません。
※タイマーモード、クロノグラフモード　※電波受信中　※2秒運針中(充電警告状態)

■ 21. オールリセット

・静電気の影響や強い衝撃により、時計が異常な表示や動作をした場合、オールリセットを行った後、基準位置修正を行ってください。

【注意】オールリセット後は、各モードの設定は、初期値に戻りますので再設定してください。

《オールリセット後の初期設定値》

・ホーム都市／ワールド都市：UTC　　・時刻：午前0時0分0秒
・カレンダー：2008年1月1日(火曜日)・タイマー：99分00秒
・クロノグラフ：0時間00分00秒00(リセット状態)
・ワールドタイム：都市表示全て「SET」、サマータイム全て「OF」
・アラーム1/2：都市「UTC」、時刻「12時00分」、セット「OF」
・レシーブセット：サマータイム「AU」、定時受信「AUT」

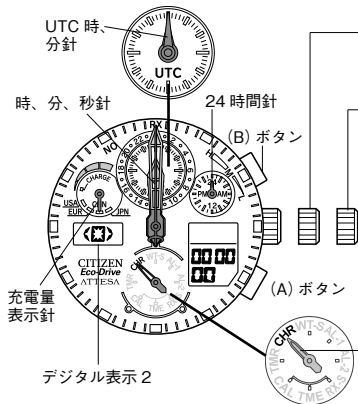
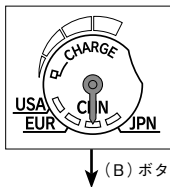
《オールリセットの方法》

1. りゅうずを 1 段引きにして回転させて、モード針を「CHR」クロノグラフモードに合わせます。
2. りゅうずを 2 段引きにします。
   ・各針が高速で回転します。
3. 各針が停止したら（A)、(B）ボタンを同時に押します。
   ・指をボタンから離すとデジタル部が全点灯表示およびライトが点灯します。
   ・確認音が鳴り、各針が左右に往復運動して基準位置確認状態に切り替わります。
4. 基準位置が正しくない場合は修正してください。

(「基準位置の確認方法」（P.16)、「基準位置の修正方法」（P.66))

全点灯表示

【デジタル表示 2】【デジタル表示 1】

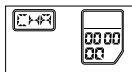
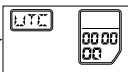
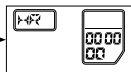
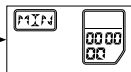
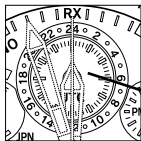
■ 22. 基準位置の修正方法

1. りゅうずを 1 段引きで、りゅうずをまわして、モード針を「CHR」に合わせます。
2. 2 段引きで、各針が高速で運針して時計の記憶している基準位置（12 時位置）で止まります。
3. (B) ボタンを約 2 秒以上押すと、デジタル表示 2 に「CHA」が点滅し、基準位置の修正状態に切り替わります。

4. ①充電量表示針の修正

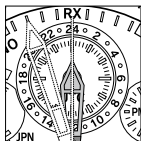
(1) デジタル表示２に「CHA」を表示します。

(2) りゅうずを回転させて文字板の充電量表示針を「CHN」の中央に合わせます。

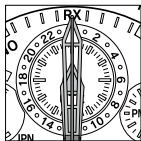
＊りゅうずを連続回転させると早送りできます。止める場合はりゅうずを左右どちらかにまわします。

＊修正が必要がない場合は、次に進みます。

5. 基準位置修正状態では、(B) ボタンを押すごとに“デジタル表示2”が、「CHA」→「UTC」→「HR」→「MIN」の順に切り替わり、該当する針が動いて修正する箇所をお知らせします。

6. ② UTC 針（時針、分針）の修正

（1）（B）ボタンを押して、デジタル表示に「UTC」を表示させます。
（2）りゅうずをまわして UTC 時針、分針を 0 時 0 分に合わせます。
●針が重なって見えにくい場合は、（A）ボタンを押すと分針が－3 分動いて、UTC 針が見やすくなります。再度（A）ボタンを押すと分針がもとの位置にもどります。

7. ③時針の修正

（1）（B）ボタンを押して、デジタル表示 2 に「HR」を表示させます。
（2）りゅうずをまわして時針を 0 時に合わせます。
●（A）ボタンを押すと分針が－3 分動いて、時針が見やすくなります。
再度（A）ボタンを押すと分針がもとの位置にもどります。

＊ 24 時間針が連動して動きますので午前／午後に注意して合わせてください。

8. ④分針の修正

(1) (B) ボタンを押して、デジタル表示 2 に「MIN」を表示させます。
(2) りゅうずをまわして分針を 0 分に合わせます。

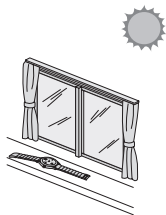
9. すべて「正しい基準位置」に修正させた後、(B) ボタンを約 2 秒以上押すとデジタル表示 2 に (0) が表示し、基準位置の修正が終了したことをお知らせします。
10. りゅうずを 1 段状態にし、通常使用するモードに合わせた後、通常位置にもどしてください。

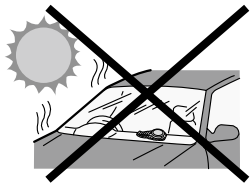
■ 23. 光発電機能について

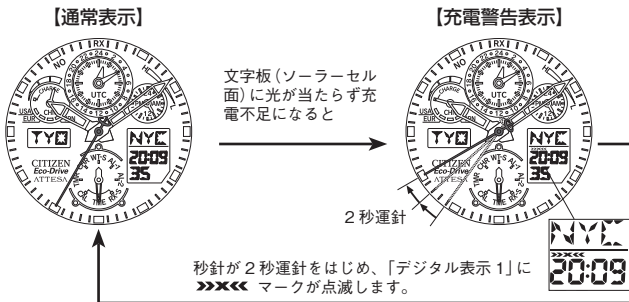
この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。
一度充電完了すると、約６カ月間時刻を刻み続けます。

〈この時計の上手な使い方〉

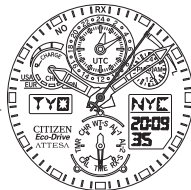
この時計を快適にご使用いただくためには、常に明るい場所での保管を心がけてください。

◆時計を外したときも、時計の文字板に太陽光が当たる窓際などの明るい場所に置くように心がけると、効率よく充電できます。

◆日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当らないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
月に一度は長時間直射日光を当てて、充電されることをお勧めします。

【注意】車のダッシュボードなどの高温になる場所での充電は避けてください。

■ 24. エコ・ドライブ特有の機能について

◎この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。

*1. 充電不足で停止した場合
- 光を当てても復活自動受信を行うまで、最短で約 30 分かかります。
それ以降も「充電時間の目安」を参考に、十分充電を心がけてください。

*2. 復活自動受信に失敗した場合
- 1 秒運針をしていても時刻がちがっているため、充電完了後、強制受信または、手操作で時刻を合わせてからご使用ください。

【復活自動受信】

A. パワーセーブ機能

文字板に光が当たらない状態が継続した場合、時計の電池消耗を最小限に抑えるパワーセーブ(節電)機能を備えています。

・パワーセーブ1：発電されない状態が 30 分以上継続すると、デジタル表示を消灯して節電します。

・パワーセーブ2：「パワーセーブ1」の状態が 7 日以上継続すると、時針・分針・秒針・24 時間針を基準位置に移動、充電量表示針・UTC 針(時・分)は、現在位置で停止して節電します。

・時計内部では正しい時刻を刻み続けています。

・アラーム音は鳴りません。

【通常表示】 【パワーセーブ1】 【パワーセーブ2】

デジタル表示全消灯

光が当たらない状態が 30 分以上続くと

デジタル表示全消灯および各針が停止します

光が当たらない状態が 7 日以上続くと

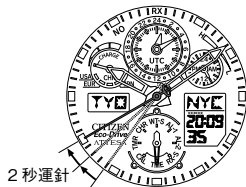
〈パワーセーブの解除方法〉

文字板に光を当てると、パワーセーブが解除されます。
りゅうずまたはボタン操作でもパワーセーブは解除されます。

●パワーセーブ 1 が解除されるとデジタル表示がもどります。
●パワーセーブ 2 が解除されると、各針が高速で現在時刻にもどり、1 秒運針になります。
●充電不足の場合は、2 秒運針をはじめます。十分に充電をして、1 秒運針にもどしてください。
●パワーセーブ状態で充電警告機能が作動すると、パワーセーブは解除されます。

＊パワーセーブ作動中、時刻は刻まれていますが、パワーセーブ解除後は強制受信を行ってからご使用ください。

B. 充電警告機能

充電量表示針が「レベル 0」になると、秒針が 1 秒運針から 2 秒運針に切り替わり、「デジタル表示 1」に »×« マークが点滅し、充電不足になったことをお知らせします。
2 秒運針をはじめてから、光が当たらない状態が約 3 日以上経過すると、時計は止まります。

【注意】2 秒運針しているとき、デジタル表示部および操作は下記の状態になります。

- ・定時受信、強制受信および手動での時刻修正はできません。
- ・各プッシュボタンの操作ができません。
- ・すべてのモードが時刻モードになります。
- ・アラーム音・確認音が鳴りません。（タイマー、クロノグラフ、アラーム使用時）
- ・LED 照明は点灯しません。
- ・クロノグラフおよびタイマーは強制的にリセットされ、操作できません。

◆「受信」の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し、操作前時刻にもどり、2秒運針をはじめます。
充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。

C. 過充電防止機能

文字板に光が当たり、充電完了になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。

どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響をおよぼす心配はありません。

D. 充電時間の目安

環　境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間（約）		
		通常に動く状態を 1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	40分	30時間
屋外（曇天）	10,000	12分	2時間	60時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	40分	5時間	150時間
屋内照明	500	4時間	30時間	—

※連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

※秒針が2秒運針している場合も、“時計が停止してから充電完了まで”を参考に十分充電してください。

通常に動く状態を 1 日保つ…… 時計を通常運針で 1 日動かすのに必要な充電時間。

時計が停止してから充電完了まで…… 時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの充電時間。

【注意】 充電完了後、持続時間は約 6 カ月となります。
パワーセーブが作動しているときは約 3.5 年間、時計の内部で時刻を刻み続けます。
ただし、充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてお使いください。
なお、月に一度は長時間直射日光を当てて充電されることをお勧めいたします。

E. 充電量表示

・二次電池にどのくらい充電されているか、充電量（目安値）を 4 段階に分けて表示します。
・充電量表示針は各レベルの中央を示します。
・お使いになる際は目安値としてご活用ください。常に充電を心がけ、通常はレベル 2 以上でお使いいただくことをお勧めいたします。

【充電量表示の見方】

レベル	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3
充電量表示	CHARGE USA EUR CHN JPN	CHARGE USA EUR CHN JPN	CHARGE USA EUR CHN JPN	CHARGE USA EUR CHN JPN
持続時間（目安値）	約 3 日	約 3 日～ 20 日	約 20 日～ 130 日	約 130 日～ 180 日
	充電不足です。すぐに充電をしてください。充電警告をお知らせするレベルです。	やや充電量が不足しています。充電を心がけてください。	充電状態は良好です。安心してお使いいただけるレベルです。	十分充電されています。安心してお使いいただけるレベルです。

【注意】
充電量表示針が「レベル 0」を指すと、二次電池の容量がほとんどなくなり秒針が 2 秒毎に運針し、デジタル表示部に「 »X« 」マークが点滅します。
約 3 日経過すると容量がなくなり､時計は停止します。この状態になる前に必ず充電してください。

F. 取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

◆日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
◆時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

◆充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。
例）・白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
※白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》

◆この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

警告　二次電池の取り扱いについて

◆お客様は時計から二次電池を絶対に取り出さないでください。
やむを得ず電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談して治療を受けてください。

◆一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告　指定の二次電池以外は使わないでください

◆この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

こんなときには

《電波受信機能について》

状　況	確　認	対処方法
電波が受信できない。	●現在の居場所とホーム都市（デジタル表示2）が同じ受信可能地域の設定になっていますか？	●地図を確認して設定を変更してください。 ・地図を確認 ・設定を変更
	●受信中で秒針が「RX」または、「H、M、L」を指しているときに時計を動かしていませんか？	●受信が終了するまで（通常運針にもどるまで）時計を動かさないでください。 （受信にかかる時間が約2分〜最大15分かかることがあります。）

状　況	確　認	対処方法
電波が受信できない。	●電波をしゃへいする物やノイズを発生する物が近くにありませんか？ ●窓から遠い場所で受信していませんか？	●電波をしゃへいする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の9時位置を送信所に向けて受信してください。場所、方向、角度を何度か変えて窓際の受信しやすい場所を探してください。
	●秒針が2秒運針していませんか？ (秒針が2秒運針しているときはデジタル表示1に充電警告マーク »✕« が点滅し、充電量表示針「レベル0」を指しています。)	●充電不足になると受信できません。「充電時間の目安」を参照し、十分に直射日光を当てて充電してください。

状　況	確　認	対処方法
電波が受信できない。	●モード針が「TME」、「CAL」、「RX-S」以外を指していませんか? ●クロノグラフ、またはタイマー計測中ではありませんか?	●りゅうずを1段引きにし、「TME」、「CAL」、「RX-S」のいずれかに設定してください。 ●一度計測を停止し、リセットしてから再度受信を試みてください。
時報と合わない。	●基準位置が正しくセットされていますか? 基準位置の確認をしてください。	●基準位置が正しくない場合は、「基準位置の修正方法」をご参照し、合わせ直してください。

状　況	確　認	対処方法
時報と合わない。	●受信結果を確認してください。 ●サマータイムの ON/OFF の確認をしてください。	●受信結果「NO」の場合は、場所を変えて再度受信してください。「強制受信の方法」 ●「TME」または「WT-S」モードで、サマータイム ON/OFF を選択してください。
受信はできたが若干、時報と合わない。		●時計内部処理などにより、若干（1 秒未満）のずれは生じます。
秒針が急に受信準備「RX」に移動した。	●定時受信の午前 4 時が任意時刻に設定されていませんか？	●「RX-S」レシーブセットモードの定時受信設定を再度見直ししてください。

《エコ・ドライブについて》

状　況	確　認	対処方法
時計が止まってしまった。	●充電量表示針が「レベル 0」になっていませんか？	●充電時間の目安を参考に、充電量表示針を「レベル 3」になるよう十分に充電を行なってください。
	●「デジタル表示 1」に【ERR】が表示されていませんか？	●オールリセットをして基準位置合わせを行ってください。 再度、【ERR】が表示された場合は、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
充電しても動かない。	●十分太陽光に当てていましたか？	●充電時間の目安を参考に十分に充電を行なってください。 充電したにもかかわらず動かない場合は、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

状　況	確　認	対処方法
秒針が2秒ごとに動いている。	●充電量表示針が「レベル0」になっていませんか？	●充電量表示針を「充電完了レベル」になるよう十分に充電を行なってください。
時計を机やタンスなどから出した瞬間に、針が早送りされる。		●光が当たったことにより、パワーセーブ（節電状態）が解除され、現在の時刻まで早送りされたためです。そのままお使いください。
針やデジタル表示が異常になった。		●オールリセットをしてください。 （強い静電気などにより時計内部のシステムが不安定な状態になっています。）

お取り扱いにあたって

警告　防水性能について

・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
（1bar は約 1 気圧に相当します）
・WATER RESIST（ANT）×× bar は W.R.×× bar と表示している場合があります。
・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
・日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様
非防水時計	-----	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10 気圧防水、20 気圧防水

・日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

	使　用　例				
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は､汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。
  色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。 磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。 外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- クオーツ時計に使われているICは、 静電気に弱い性質を持っています。 強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。 シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。 薬品類には十分注意してください。また、 体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、 ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、ハケなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
  金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 25. 製品仕様

1. 機種：U680
2. 型式：コンビネーションソーラーパワーウオッチ
3. 時間精度：非受信時（電波を受信していないとき）
   平均月差± 15 秒
   常温（＋ 5℃〜＋ 35℃）携帯時
4. 作動温度範囲：0℃〜＋ 50℃
5. 表示機能

【アナログ部】

●ホーム都市時刻：時、分、秒、24 時間
● UTC 時刻：時、分
●充電量表示（4 段階の扇型表示）
●受信電波表示「日本：JJY、アメリカ：WWVB、ヨーロッパ（ドイツ：DCF77）、中国：BPC」

【デジタル部】

●ホーム都市名／ワールド都市名
●ワールド都市時刻：時、分、秒（12 時間／ 24 時間切り替え）
●サマータイム ON/OFF
●カレンダー:月、日、曜（2099 年 12 月 31 日までのパーペチュアルカレンダー）

6. 付加機能

●電波受信機能（定時受信、強制受信、復活自動受信）
●受信局自動選択機能（日本電波のみ）
●受信 ON/OFF 選択機能
●受信中表示機能（RX）
●受信中レベル表示機能（H、M、L）
●受信結果確認機能（H、M、L）または（NO）
●定時受信時刻設定機能
●サマータイム ON/OFF 選択機能
●ワールドタイムアラーム1・2：時、分、AM/PM、都市名、ON/OFF、アラームモニター機能
●クロノグラフ（24 時間計、1/100 秒単位、スプリットタイム計測）
●タイマー（設定範囲：最大 99 分から1 分まで 1 分単位）
フライバック機能、オートリターン機能
●ワールドタイム表示機能
●任意時差設定機能
●ゾーンセット機能（都市名表示 SET/OFF）

●ホーム時刻（アナログ）／
　ワールド時刻（デジタル）入れ替え機能
● LED 照明
●パワーセーブ 1（節電）機能
●パワーセーブ 2（節電）機能
●基準位置確認／修正機能
●光発電機能
●充電警告機能（2 秒運針）
●過充電防止機能

● JIS1 種耐磁
●衝撃検知機能
●針自動補正機能

7. 持続時間：●充電完了後、充電しないで時計が停止するまで
：約 3.5 年（パワーセーブが作動しているとき）
：約 6 カ月（パワーセーブが作動しないとき）
なお、持続時間は電波受信回数など使用条件によって異なります。
●充電警告表示〜充電不足で時計が停止するまで：約 3 日
8. 使用電池：二次電池（ボタン型リチウム電池） 1 個

※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

・防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために２～３年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として５年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

受信困難なお客様へ

受信に関しては、そのときの気象状況や電波環境の影響を受けます。『電波受信』をお試しいただいても、万一受信に成功されないという方には、電波送信所からの電波進入方向を示した地図（国内のみ）をお作りするなどのサポートをしています。受信が困難なお客様は『シチズンお客様時計相談室』へお問い合わせください。
なお、お客様からお預かりした個人情報は、受信に関するサポートのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。